



渚滑っ子

学校HPコード



教育目標：人間性豊かな児童の育成

～気付きをつなげる子どもの育成～

令和7年4月24日発行

文責：校長 木村 智史

変わらないもの

先日、私は「オホーツクへき地・複式教育研究連盟」の総会に出席しました。総会に先立ち研修会がありました。その研修会の講師は、以前私と同じ地で教員として勤務し、十数年後に同じ学校で働いたことのある方でした。

研修会の中で彼が用意したものは、ある番組の動画でした。それは、平成13年に彼が勤務していた小さなへき地校の子供たちが、東京へ冒険旅行に行く一時間のドキュメント番組（当時、この番組はHBCテレビ制作ギャラクシー賞を受賞したとか…。）でした。あの当時、「総合的な学習の時間」が実施され、どの学校も地域に根差した教育とは何か、試行錯誤している段階でした。

その番組の中で、さまざまな教師の仕掛けや普段の授業のこだわりが見られました。

「東京でしてみたいこと」を子供たちの手で実現していくのです。

例えば、自分たちの町にはない銭湯に行って、『牛乳瓶の牛乳を腰に手を当てて飲んでみたい！』という目標を立てた子がいました。その夢の実現のために、旅行に出発する前に、東京の銭湯をかたっぱしから調査し、目的地と決めた銭湯に電話するのです。

「北海道〇〇小学校の◇◇というものです。

そちらにうかがいたいのですが、銭湯には牛乳が置いてありますか？」

『なに？ 北海道？ 牛乳？ あるよ。』



下町のおばあちゃんの勢いに押されています。でも、手に入りたい情報を訊ねることも止めません。

「入湯料はおいくらですか？」

『こどもかい？ こどもなら…。』

うまく伝えられなくて困ったとき、

「少々お待ちください…。」

と言って、近くにいる先生に、「先生！！ 何て言ったらいいだろう…。」とひきつった顔で助けを求めています。微笑ましく、思わず笑ってしまいます。

でも、この中にたくさんの指導の跡を感じました。

その一つが「敬語」です。敬語の学習は、国語の教科書にもあります。でも、実践で使えなければ意味がありません。初めて話す相手に、失礼のない言葉で情報を引き出しています。

「少々お待ちください。」ととっさに出た言葉が印象的でした。

番組の途中、夢を叶えた映像にオーバーラップして、その子の作文が音読されました。

「プシュ！ ああうまい！」

と、牛乳瓶のふたを開ける瞬間を作文の書き出しにしています。

作文を書くことにも目的が感じられるし、書き出しの工夫をすることで作文に命が宿ります。

結局、この番組は、「やっぱり自分たちの故郷の方がいい！」という子供たちの言葉で締めくくられました。私は30年前に戻った気がしました。世の中は変わったけれど、教育の本質は変わらないということも再確認しました。

先生たちは楽しんで仕事をしていたな。
 子供の興味・関心を引き出す努力をしていたな。
 子供に教えるべきことと任せることをしっかり区別していたな。
 子供は、学ぶことが好きなんだな。
 地域に支えられる学校ってみんなが成長できるんだな。

この理想を実現できるように、「つながる学校」を目指して頑張ります。
 地域の皆様、保護者の皆様、今年度もよろしくお願いいたします。



ご家庭でも情報教育を

私の携帯電話に見知らぬ通知番号から着信がありました。
 仕事上、その様な場面が多く、未登録番号でも抵抗なく受けています。ただ、今回の相手は俗にいう「詐欺電話」でした。

実に言葉巧みで、私にとって「得」がある内容です。
 「ところで、私の名前と住所を知っていますか？」
 と訊ねると、ブチッと切られました。私の名前さえ知らないのに、なぜ、そのような話を勧めることができるのだろう…？という本質的な疑問を話すことで、「騙し」にのることなく回避できました。

昨今、「人を騙す」ことで自分の利益を上げたり、自分の存在意義を求めたりする事例が多く、犯罪の抑止と、その上をいく新たな手口のいたちごっこ状況です。人の理性である、親切・思いやり・家族愛・不安などを悪賢く利用する手口は今に始まったことではなく、インターネットを利用することで、スケールが異次元に広まったのです。人とのつながりに重要な、「情報」を巧みに悪用するわけです。

そう考えると、情報による「騙す」本質は今も昔も変わることなく、手段が変わっただけとも言えます。
 では、私たちだけでなく、子供たちの生活において、こうした事例に巻き込まれず、かつ騙されずに生きていくためにはどうすればいいのでしょうか。

今年度、学校でも情報教育を形にしようと思っています。グループラインでのトラブル、課金トラブルなど、身近に起こりうるトラブルに事前対応する力を養うためにも、まず、ご家庭でのルールを決めて利用させてほしいです。今年度、中学校が実施している情報教育に参加させてもらう構想もあります。

頼みます！先生！

四月の人事異動により、新しく渚滑小学校職員となった「渡辺 美香」教諭です。
 斜里町立斜里小学校から異動してきました。以下、今年度の渚滑小スタッフです。

2年	作田 健輔	特別支援教育支援員	藤田 直子
3・4年（複式）	阿部 貴洋	学習サポーター	渋谷 茉弥
5・6年（複式）	菅原 陸	事務職員	嶋木 徹
なぎさ1（2年情緒）	本田 弦矢	公務補	杉山 淳一
なぎさ2（4年情緒）	山崎 紗知子	ALT	ビッキー・テス・ディレーニー
なぎさ3 1・5・6年 知的	関 知子	学校図書館司書	門井 里佳子
なぎさ4（6年情緒）	渡辺 美香	教頭	窪田 大輝
養護教諭	千葉 裕太	校長	木村 智史